

令和7年度第3回宗像市男女共同参画推進懇話会 議事録

日時：令和7年11月4日（火）14時00分～15時30分

場所：宗像市役所 北館 2階 204会議室

出席者

（敬称略、五十音順）

委 員	出欠	委 員	出欠	委 員	出欠
石橋 文恵	○	石山 さゆり	○	魚住 由佳理	欠
岡山 元生	○	小森 雅子	欠	藤谷 明美	○
水田 尚文	○	山田 雄三	○		

事務局出席者：飯野、三浦

1 はじめのあいさつ

宗像市男女共同参画推進懇話会 会長 石山さゆり

○委員
●事務局

2 議事録署名人選出

○議事録署名人：石橋委員

3 議事

(1) 第4次宗像市男女共同参画プラン（案）について【資料1、2】

- 第3次プランから第4次プランへの変更点及び前回懇話会で出された意見への対応状況について【資料1】にまとめている。まず、第3次プランでは「女性活躍のまち」と基本理念に掲げていたが、第4次プランでは、性別にかかわらず、誰もが生き方や働き方を選択できる（自分で決められる）社会を目指す考え方も加えている。
- DV防止法の改正（身体的な暴力だけではなく精神的な暴力も対象化）を踏まえ、「精神的な暴力」について追加している。また、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の施行を受け、支援体制の構築について新たに盛り込んでいる。
- 第4次プランでは、第3次プランのように事業を詳細に固定せず、基本目標や基本施策の達成に向けて柔軟に事業を展開できるようにしている。最後に計画策定時の実施事業をリスト形式で掲載し、今後は毎年度見直しを行っていく構成としている。
- 続いて、前回の懇話会で出された意見への対応状況について、以下のとおり対応している。
 - ・目指す姿の「ジェンダー平等社会の推進に向けて」について、「推進」よりも「実現」が望ましいという意見を受け、「ジェンダー平等社会の実現に向けて」に修正している。
 - ・「安心して暮らす」を「豊かに暮らす」にしてはどうかとの意見について、「安心して」は「不安がない」という意味合いよりも「安全」の印象が強く、精神的・経済的に満たされるイメージを伝えるには「豊かに」の方が適しているのではないかと意見があった。事務局としては、精神的に不安を抱えずに過ごせるという意味を重視しており、「安心して」の表現を残したいと考

えている。本日の意見を踏まえ確定したい。

- ・目指す姿、基本目標、基本施策までの共通部分において、前回の懇話会では「男女共同参画」という言葉をすべて「ジェンダー平等社会」に変更していたが、ジェンダー平等社会をつくる上で男女共同参画の実現が必要ではないかとの意見を受け、「男女共同参画」という言葉を一部戻している。また、「性別に関わらず」を「誰もが」という表現に修正している。

- ・基本目標４の表現については、前回の案では「社会づくり」としていたが、意識づくりの次に環境を整えるという構成に整理し、「環境づくり」に変更している。

- ・取り組みの方向性について、基本目標１の教育に関する項目では、第３次プランに引き続き、「就学前教育、学校教育、社会教育における男女共同参画の推進」としているが、対象が児童・生徒など教育を受ける側であるなら、「男女共同参画教育の推進」とした方がわかりやすいのではないかとの意見があった。しかし、主に教職員や保護者を対象とした取り組みであるため、現状のままとしている。

- 「男女共同参画」と「ジェンダー平等」の言葉の使い分けについては、「男女共同参画の推進を通じてジェンダー平等の実現を目指す」という捉え方で整理した。目指す姿では「ジェンダー平等」を使用し、基本目標・基本施策・取り組みの方向性の中では、「男女共同参画」と表現している。

- 事務局の方で、前回案から変更した箇所もある。

- ・目指す姿のなかの、「自分らしく安心して暮らすことができる」という表現について、自分らしさが見えない人もいる可能性があることから、「自分で考えているところを支援する」という方向性に合わせ、「自分らしく」の言葉を削除し、「安心して暮らすことができる」と表現している。

- ・基本目標３について、前回の案では「活躍できる環境づくり」としていたが、「活躍」ではなく、「自分で選択できる」という視点から「自分で選択できる環境づくり」と表現を変更している。

- ・基本目標４の基本施策について、これまでＤＶやハラスメントに関する記載はあったが、性暴力に関する記載がなかったため、今回新たに「性犯罪」という表現を追記している。

- 続いて第４次プランについて【資料２】に基づき説明。計画の位置づけについて、第３次プランから大きな変更はないが、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」に基づく計画であることを追記しており、計画期間は令和８年度から令和１２年度までの５年間としている。

- ３～６ページには、世界・国・県の動きや宗像市の取組状況をまとめている。ほかに記載した方がよいものがあれば意見をいただきたい。

- ７～１０ページでは、宗像市の男女共同参画の現状を掲載しており、前回資料を基に新たに「従業上の地位の状況」を追加している。令和２年国勢調査の結果から、女性の非正規雇用の割合が男性より高いことを示している。

- １１～２７ページには、市民意識調査の結果を掲載している。前回資料を基に体裁を整え、第３次プラン掲載内容との比較として引続き掲載している。

- ２８～３１ページでは、第３次プランの振り返りを掲載し、前回資料を基に一部文言を修正して

いる。32～33ページには、市民意識調査や振り返りを踏まえた課題を掲載し、次の基本目標以降につながる構成としている。

- 35～36ページには基本目標を掲載し、35ページで第3次から第4次への組み替えを表で示し、36ページに具体的な内容を掲載している。
- 37～38ページでは施策体系図を掲載し、取り組みの方向性まで踏まえた表については、第3次プランから統合・整理を行っている。
- 39ページ以降には、基本目標ごとの具体的な計画内容について掲載している。まず基本目標1「男女共同参画の意識づくり」は、第3次プランでの基本目標5にあたり、国際交流に関する部分を基本施策1に統合している。また基本施策2では、就学前教育、学校教育、社会教育、性別にとらわれない社会体験教育等の推進を、4つの方向性で示している。なお、第3次プランでは、学校での「性に関する指導」をこの項目内に含めていたが、自分の身を守る・安心して暮らせるといった意味合いが強いことから、基本目標4へ組み換えている。数値目標について、第3次プランでは、各事業の説明に文章で示していたが、今回は別立ての表として掲載している。基本目標1の数値目標は、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきと考える市民の割合」とこれまでどおり「男女共同参画ということばを知っている市民の割合」の2つとし、前者については、第3次宗像市総合計画の成果指標にも設定しており、今後は毎年の市民アンケートで測っていく。
- 基本目標2「誰もが平等に参画できる環境づくり」は、第3次プランの基本目標1にあたり、大きな変更はないが、数値目標に「地域活動や社会活動の場における男女の地位の平等感」を新たに追加している。「市の審議会等における女性委員の比率」については引き続き目標値を40%と設定している。
- 基本目標3「自分で選択できる環境づくり」は、第3次プランの基本目標2及び3にあたり、大きな組み換えはないが、数値目標として「職場における男女の地位の平等感」を追加している。また「女性創業者数」について、今まではFabbit宗像を活用して創業した女性の数を基準としていたが、商工会や市の支援を活用した特定創業支援事業による創業者も含めるかたちに変更している。女性創業者数を5年間で40人としているが、目標値の設定については担当課と引き続き調整を進めていく。
- 基本目標4「安心して豊かに暮らせる環境づくり」は、第3次プランの基本目標4にあたり、基本施策1では「精神的な暴力」を追記し、取り組みの方向性を相談・支援・職員の能力向上・啓発活動の4つに整理している。
- 基本施策2では、「性犯罪」の文言を追加し、第3次プランでは教育分野にあった「性に関する指導」をこちらに持ってきている。さらに、「困難を抱えた女性等が安心して暮らせるための支援体制の構築」を新たな方向性として追加している。数値目標は、市民意識調査から「身体的DV」と「精神的DV」の両方を新たに追加している。
- 48ページは計画の推進体制を掲載予定であり、第3次プランの体制を基本にしつつ、施策や目標の効果が見えやすい管理方法を検討していけたらと考えている。
- 最後に施策体系として、事業リストを掲載している。第3次プランでは事業を細かく記載し固定化された反省から、今回は「取り組みの方向性」までを計画に記載し、具体的な事業については

計画策定時の取り組みを掲載し、今後は柔軟に対応できる構成としている。

- 市民意識調査のページについて、グラフの前に文章で説明があるが、グラフの横にも説明があったほうがわかりやすい。特徴的な点をわかりやすく示すとよいと思う。
- 基本目標１の数値目標「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきと考える市民の割合」について、「賛成」ではなく「反対」で測ってはどうか。他の数値目標はすべて上がる方向で数値を測るためあわせた方がよいと思う。
- 市民意識調査結果から数値をとれば修正したい。
- 宗像市が目指す姿について、「豊かに」よりも「安心して」の方がみんな目指しやすいと思う。
- 安心しての先に豊かさがあると思うので、「安心して」の表現でよいと思う。
- １０ページの「従業上の地位の状況」グラフに「宗像市」と記載したほうがよい。
- 施策体系について、第３次プランよりわかりやすくなったが、今後どのように評価を行っていくのか。
- 取り組み部分は、参加人数などの結果の数値は出せるが、成果の部分をどう測るかが課題である。基本施策にどの程度効果があったかなどを意識してもらえよう、男女共同参画推進課が各課へ働きかけ、毎年の実績報告やヒアリングを通して、事業の目的や方向性を確認・共有しながら進めていければと考えている。もう少し内部でも検討・調整したい。
- 第３次プランの課題は評価の仕方であり、これまでの「実施した・しなかった」という報告だけでは効果が見えにくいため、「どういう効果があったか」が見えるような方法があればよいと思う。
- 各課が自分たちで考えることが、PDCAサイクルの定着につながると思う。
- その事業に取り組んだことで、どのような変化があったかという点が重要である。単年度では変化が見えにくいものもあるため、振り返りの方法や評価シートをどう作りこんでいくか検討する必要がある。
- 現行の評価シートは、実績報告からどういう課題があって、それをどう改善していくかの「今後の取り組み部分」が薄い。
- 今後は評価シートに記載例を示し、基本目標や基本施策を意識して記載ができるよう提案できればと考えている。評価シートの見せ方を事務局で検討する。
- 各施策について、主語や目的を明確にし、多義的に解釈されないようにした方がよい。主語や対象を明確にすることで、担当者が変わっても、何を目指していて何を求められているかがクリアになると思う。
- 基本目標４の基本施策３（２３）「ライフステージに応じた健康支援と健康教育の推進」について、改正女性推進法に基づき、健康上の特性に配慮する観点から、働く女性の健康支援を追加してはどうか。
- どの基本施策に位置づけができるか検討する。
- 働く女性が増えていることもあり、追加いただきたい。
- 基本目標３でもよいし、基本目標４の（２２）「リプロダクティブヘルス/ライツ」にも関わる部分でもある。「働いている・いない」に限らず大切なことでもあるので、（２２）の方に追加

してもいいかもしれない。

○数値目標の設定について、全国と同規模自治体との比較など、根拠をもって設定したほうがよいと思う。

●そのほかに意見あれば、11月14日までに意見をいただきたい。次回第4回の懇話会で第4次プランをほぼ確定させ、その後必要に応じて会長・副会長と協議のうえ、12月中旬に最終案をまとめ、1～2月にかけてパブリックコメントを実施する予定である。

4 事務連絡

【第4回懇話会】令和7年12月2日（火） 14：00～
北館2階 204会議室

議事録署名人 宗像市男女共同参画推進懇話会 委員

石橋文恵
